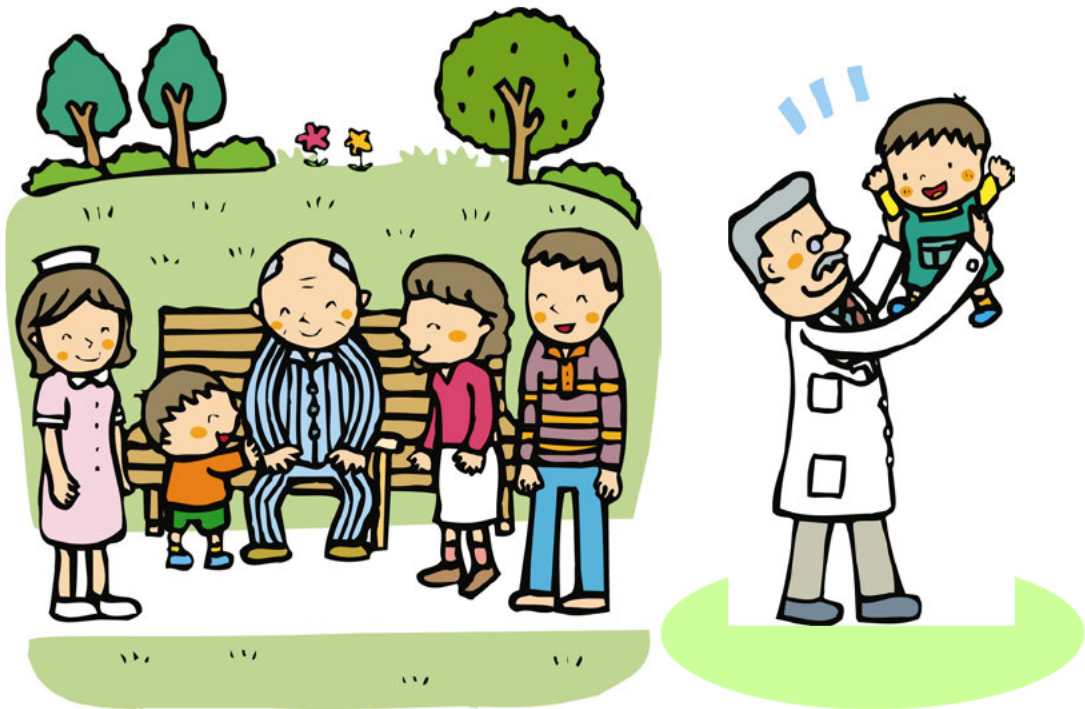


お世話になった医療スタッフの皆さまへ

ありがとうのメッセージ集



三重県

平成23年3月

目次

1	はじめに	P1
2	ありがとうのメッセージ	
	(1)北勢地域医療機関	
	メッセージ1	医師へ 「先生のやさしい心で・・・」 P2
	メッセージ2	医師へ 「先生みたいな先生がたくさんに！」 P3
	メッセージ3	医師へ 「元気で楽しい先生のファンより」 P4
	メッセージ4	医師へ 「心(暖かさ)を頂いた先生へ」 P5
	メッセージ5	看護師へ 「あなたの姿を励みに」 P6
	(2)中勢・伊賀地域医療機関	
	メッセージ6	医師、看護師等へ 「医療に携わる人を目指して」 P7
	メッセージ7	医師、看護師等へ 「命あずけて」 P8
	メッセージ8	医師へ 「すてきな先生が増えるように」 P9
	メッセージ9	医師へ 「大好きな先生の病院に」 P10
	メッセージ10	医師へ 「百歳めざして競争」 P11
	(3)南勢志摩地域医療機関	
	メッセージ11	医師、看護師へ 「僕達の命をありがとう」 P12
	メッセージ12	看護師へ 「看護師の母へ」 P13
	メッセージ13	医師へ 「“心察” くださる先生へ」 P14
	メッセージ14	看護師へ 「病院の“華”のあなたへ」 P15
	メッセージ15	医師へ 「感謝と祈りを込めて」 P16
	(4)東紀州地域医療機関	
	メッセージ16	医師、看護師へ 「大好きな場所」 P17
	メッセージ17	看護師へ 「かんごしさんへ」 P18
	メッセージ18	医師へ 「感謝と期待」 P19
	メッセージ19	医師、看護師、その他へ 「みなさんのやさしさが安心に」 P20
	メッセージ20	医師へ 「退屈虫と闘いながら」 P21
3	おわりに	P22
4	みえの地域医療を守る緊急メッセージ ～県民の皆様の命を守り、現場で働く人たちを応援するために～	P23
5	その他(参考資料:ポスターと応募用紙)	P25

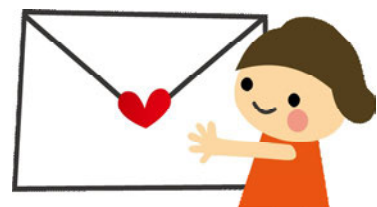
1 はじめに

急な病気やけがなどで治療を受けたことのある方や、また現在治療を受けている方などから、お世話になった医師や看護師等に対して、感謝のメッセージを贈ることで、県内の医療機関に勤務する医療スタッフの皆さんに今後の励みにしていただき、さらに活躍していただきたいと考え、県民の皆様から広くメッセージを募集しました。

募集しました平成22年12月10日から平成23年2月28日までの間に、1000件を超える多数の応募があり、これらのメッセージは、贈る相手方（医療スタッフ）の勤務先を通じてご本人様へ県からお届けします。

今回、県民の皆様からお寄せ頂いたメッセージを贈られるご本人様だけでなく、医療現場で働く全ての方々への応援メッセージとして公表したいと考え、その中から20件をメッセージ集として掲載しました。

県民の皆様からのメッセージを、医療現場で働く全ての方々へ贈ります。



2 ありがとうのメッセージ

(1)北勢地域医療機関

メッセージ1 「先生のやさしい心で・・・」

贈る相手方：医師

いつもありがとうございます。先生は、患者の立場で物事を考えることのできる優しいお医者さんだと思います。先生のおかげで1歩も歩く事ができなかった私が、今では車の運転までできるくらいに回復することができました。本当に感謝しています。

先の見えない入院中、滅入っていた時に普通の世間話が気分転換になって楽しかったです。医師という職業はとても過酷でこれからも大変な事はたくさんあると思いますが、先生のことを必要としている患者さんがいっぱいいます。皆が求めているのは、心からのケアで、言葉1つでも助けられる時があります。先生の優しい心で、多くの患者さんたちを助けてあげてください。

先生と出会う事ができて本当に良かったです！！



四日市市 26歳 女性

メッセージ2 「先生みたいなお医者さんがたくさんに！」

贈る相手方：医師

母がいつもお世話になっております。

月に一度の通院日に私が付き添うのですが、診察室の外で待っていると、先生と母の会話が聞こえてきます。母が何も言わないうちに、母の姿を見て「あら、痩せたね」「足痛そうだね。つらいでしょう」「元気そうだね」とすぐに声をかけて下さいます。

毎日、多くの患者さんを診ておられると存じますが、そのうち一人のわずかな変化にもすぐ気づき、声をかけて頂くと、「ああ、ちゃんと診て下さっているんだなあ」という安心感がわいてきます。母の変化にもすぐに気づいて下さるので、私も嬉しく思います。私の様に感じている方は他にもたくさんいらっしゃると思います。先生のように安心できる、信頼できるお医者さんがもっと増えると良いなあと願っております。

津市 57歳 女性



メッセージ3

「元気で楽しい先生のファンより」

贈る相手方：医師

「おまえの寿命は俺が延ばしてやる」。多分ご自分で言った事を忘れて
いると思いますが、私は自分で照れるほど嬉しかったです。

最初受診した時から、笑わせてくれて、病院に行くのが楽しく、がんと
言われても先生の冗談のようで「そうか～」って感じでした。

私が家族や友人に、あまりに先生の事を楽しく話すらしく、みんな大フ
ァンです。ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

鈴鹿市 51歳 女性



メッセージ4 「心(暖かさ)を頂いた先生へ」

贈る相手方：医師

先生、看護師の方々、主人の入院の時は大変お世話になりました。特に先生には、私達家族の事も考えて頂き、先生のお話を聞いたりすると心が落ち着き、安心出来たような気がしました。難しい専門的な事も治療方法等も良く分かるようにていねいに説明して頂き、何度も何度も忙しい時間を割いて、時には時間外にもお話をして下さいました。

大きな病院に入院していたのですが、本当に最後の最後になって転院させて頂いた主人ですが、「心」というか「暖かさ」を頂きました。「もう時間があまりありませんから御主人との思い出をできるだけ多く作る様にして下さい」と言われて最終的な覚悟も家族で出来たような気がします。結局主人は亡くなりましたが、私達家族は心より感謝しております。本当にありがとうございました。

現在私も息子、娘もすこしずつ元気を取り戻しつつある所です。

桑名市 63歳 女性



メッセージ5 「あなたの姿を励みに」

贈る相手方：看護師

2006年に切迫流産で入院し、切迫の時、風邪をこじらせてしまい夜中に腹痛を起こした時、介抱していただきありがとうございました。心配して下さり声をかけて下さった優しさがとても嬉しかったです。

そして、さらに嬉しかったのは、その後出産で入院した時に私のことを覚えて下さったこと。「もしかして、12月頃入院していました？」とたずねて下さった時、またお目にかかれたうれしさだけでなく、毎日数あまたの患者さんに接している中で、ほんの少しの関わりだったのに、印象に残して下さっていたのが本当にうれしく、とても元気づけられました。

看護のお仕事は身体的、精神的にとっても大変だと思います。私の友人も何人か看護の道に進んでおり、本当に頭が下がる思いです。ストレスも大きいかと思いますが、このように励まされ、元気づけられている人が私以外にきっとたくさんおられるかと思っています。とても価値あるすばらしいことをされているあなたのお姿を励みに私もがんばりたいと思います。

四日市市 32歳 女性



(2)中勢・伊賀地域医療機関

メッセージ6 「医療に携わる人を目指して」

贈る相手方：医師、看護師等医療現場の皆様

入院していた時は大変お世話になりました。私が今ここに生きているのも、この病院で手術をしてもらったからだと心から思います。その頃私は高校野球をしていたので手術を行う時期を遅らせてもらい、自分の満足いく高校野球生活ではありませんでしたが、家族の支えや病院でのケアが従来の自分の成長よりもはるかに多くのことを学び成長させていただきました。

私は幼い頃から教育に携わる仕事を志しておりましたが、病院で入院してからは医療にも興味を抱くようになり、私は大学でもそのような道に進学したいと思ってから2年の月日が経過し、来年4月からは三年生になり、いよいよ就職活動の始まりです。現在は、就職氷河期ということもあり、企業への就職が厳しいので、私は公務員試験を受験し、まず消防士になってから救命士の資格をとって医療に携わりたいと考えています。本当に命を助けていただいてありがとうございました。私も頑張るので、これからも頑張ってください。



松阪市 20歳 男性

メッセージ7 「命あずけて」

贈る相手方：医師、看護師、その他スタッフの皆様

がん告知から10年、何度も手術を受けてそのたび命救われて今も生かされている私です。今ここにしかない私の命をありがとう。10年間主治医、執刀医、同じ先生に私は恵まれていました。

「医師の努力と白衣の天使 病める心の希望を開く」

今年最後の定期検査も今日終わった。今年も1年間本当にありがとうと心から言えた。毎月の定期検査も先生方に会うだけで、顔を見るだけでホットする。安心するんだよな。私達患者にとって、安心できる先生方が仏様であり、神様なのです。

私は三度目の手術の前にうすれていく意識の中で幻覚を見ていました。沢山の仏様でした。その中に主治医の先生を探していました。

「医者に託した私の命 感謝で送る古希の日々」



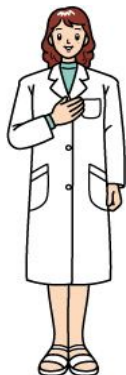
亀山市 70歳 女性

メッセージ8 「すてきな先生が増えるように」

贈る相手方：医師

今から5年前の夏、町のお医者さんで、胃がんと指摘をうけ、先生に巡り会えました。60歳を過ぎ、まだまだ仕事に意欲を見せていた主人。60年間病気らしい病気もなく、私どもが病気になると気合いで治させるような人でした。「病気なんか気のせいだ、気持ちをしっかり持てばすぐに治る」なんて言う人でしたが、やはり胃がんの言葉には本当に私どもよりショックが大きかったと思います。

おかげさまで、今年8月で5年が過ぎ、やっと他への転移もなく、無事全快のお返事を頂きました。その間5年間、1ヶ月に一回通院をかかさず、病気のことだけではなく、心のケアも、少しのいやな顔をする事なく、先生のお顔を見るだけで、全ての病気が治ってしまうような気がしました。もちろん付き添っている私どもの心も和みました。本当にすてきな先生です。このような先生が一人でも多く増えることを願いながら……。



名張市 63歳 女性

メッセージ9

「大好きな先生の病院に」

贈る相手方：医師

先生。あんなにくるしかかったゼーゼーが、でなくなって、学校も休まなくなりました。外で、いっぱいあそべるようになったのが、すっごくうれしいです。こんどは、薬のまなくても、ゼーゼーがでないようがんばって。

遠いけど、先生の病院まで通います。先生ありがとう。つれてくれるお母さんもありがとう。

志摩市 11歳 女の子



メッセージ10

「百歳めざして競争」

贈る相手方：医師

先生、もう11年が経ちました。先生は、「僕は手術が大好きで職人です」と、私の手術の後、そうおっしゃいました。あと一週間放置していれば、「とんだことになるところでした。」と先生は厳しい顔で言われた後、少年のように「僕は職人です」と。

入院中、友人達からは「何の病気だったの?」と聞かれて、先生に病名をお尋ねしたところ、「そうですね、腸閉塞だったと答えておきなさい」と困った顔をされました。きっと難しい病名が専門的についていたのでしょね。

手術の後、3年目にカナダへ、帰国して10日目に、私はモンゴル大草原に立っていました。

先生に助けて頂いた生命、大切に致します。目標は百歳です。先生はその時は今の私の年齢になっておられますね。先生、百歳めざして競争しませんか。



名張市 80歳 女性

(3)南勢志摩地域医療機関

メッセージ11 「僕達の命をありがとう」

贈る相手方：医師、看護師

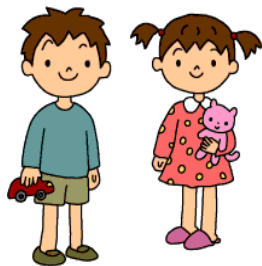
NICUのドクター、ナースへ

3年前、僕達の命を助けて下さり、本当にありがとうございます。覚えていらっしゃるでしょうか？毎日元気に笑顔で過ごせる幸せを下さり感謝しております。

三年前の出産で、私は絶望感と不安で一杯でした。しかし、先生をはじめ現場のスタッフの皆様の温かい心遣いや子供だけでなく、両親への優しい気遣いでどれだけ救われた事でしょう。今の私達親子が本当に心の底から笑えるのは、皆様のおかげです。あの時、皆様がいなければ、私はこんなに笑う人間にはなっていなかったことでしょう。本当にいつもいつも皆様には感謝の気持ちで一杯の私です。皆様を思わない日はないほどです。

私の、そして子供たちの命を救って下さり、ありがとうございました。

志摩市 3歳 男の子と、そのお母さん



メッセージ12

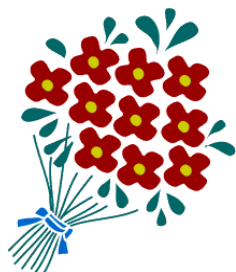
「看護師の母へ」

贈る相手方：看護師

友人のお母様が病気で亡くなられ、10年が経ちました。その友人と久しぶりに再会致しました。そう、私に“伝えたい感謝の気持ち”を胸に会いに来てくれたのです。当時、その友人の母が入院していた病院で、看護師さんに本当によくしていただいた事がとてもうれしく、今は亡き友人の母から、必ず伝えてもらうようにとの事でした。他の多くの病人の世話をかかえているのに、いつもきれいにシーツ交換やトイレのお世話、体をふいて下さり、当たり前のように毎日よくしていただいたと最後までおっしゃっていたようです。

“ありがとう”を伝える前に、友人の母は天国へいかれました。その思いを私に伝えに来てくれたのです。その看護師は、私の母だったのです。今その友人から伝えられた“感謝のありがとう”を看護師である、私の母に贈りたいと思います。

31歳 女性



メッセージ13

「“心察” くださる先生へ」

贈る相手方：医師

先生、娘は知的障害者ですが、診察室に入ると「お待たせしましたね」「どうですか？」とていねいな言葉がけをいただけて、毎回嬉しく思っています。

ゆっくり喋る娘の言葉にも優しく答えて下さり、娘も診察日を楽しみにしています。

看護師さん達にも、先生は優しく、看護師さん達は患者にとっても優しく親切です。長く待つ事もありますが、ゆっくり診察していただけて話を聞いていただけて安心します。先生の診察は「心察」だと信頼しています。今後も、どうぞよろしくお願いします。

伊勢市 55歳 女性



メッセージ14

「病院の“華”のあなたへ」

贈る相手方：看護師

笑顔の綺麗な看護師さん、お元気ですか。昨年1ヶ月間大腸がんで入院した時、担当看護師として治療のサポートを退院するまで面倒みていただき、ありがとうございました。入院中はあなたと看護のことや、治療生活のことなど短い巡回チェックの時に色々な知識を得ることができました。

看護には色々細かい作業がたくさんあって、それぞれにルールがあり、1つのミスも許されないことをみんな認識しています。このためには、私語禁止、ダブルチェックなど緊張の連続の中で神経を使い、よく頑張っていることに大変驚きました。また、あなたが三交替勤務のスケジュールをこなしていることを考える時、ご主人をはじめご家族の皆さんとの絆をどこに求めているのか、家族との融和をどのように接しているのかをもっと知りたかった。

病院での生活では微に入り細に渡り面倒を見て頂きありがとうございました。規則正しい看護には安心して生活できましたこと深く感謝しています。息つく暇もない看護の仕事ですが、ご自身も健康第一で健康を維持し、素敵な笑顔で患者さんを癒してやって下さい。あなたは病院の「華」です。いつまでも今の職場で頑張ってください。



伊勢市 79歳 男性

メッセージ15

「感謝と祈りを込めて」

贈る相手方：医師

一昨年6月くも膜下出血を発症し先生に担当して頂きました。その節は大変お世話になりました。お陰様で、後遺症を残すことなく元気で働いております。(奇跡のようです)記憶が朦朧ながら手術前でしたか、先生が「必ず治しますから頑張りましょう。」と私の手をしっかりと握ってくれた掌の大きさ、暖かさ、救急搬送された時息子が手を握っていてくれた心強さは一生忘れられません。

そして沢山の人に(家族、消防の方、看護師さん達)助けて頂いたこの命を大切に、私もまた誰かの役に立てる人間でありたいと、僅かずつではありますが努力しています。これからもどうぞお体を大切になさり、患者さんを救って下さい。

感謝と祈りを込めて

伊勢市 51歳 女性



(4)東紀州地域医療機関

メッセージ16 「大好きな場所」

贈る相手方：医師、看護師

私は診療所の先生、看護師さん達にありがとうとメッセージします。私は水害に遭い、初めて先生、看護師さん達に親切にしてもらい大変嬉しく思いました。私は診療所へ行くのが一番好きです。

熊野市 80歳 女性



メッセージ17 「かんごしさんへ」

贈る相手方：看護師

病院のかんごしさんへ。入院のときは、ありがとうございます。

さいきは、漢方薬をのんでいます。学校もがんばって、いっています。

あんまり、はなぢも出ません。また入院する事もあると思うのでよろしく
お願いします。お仕事がんばって下さい。私もがんばります。

御浜町 8歳 女の子



メッセージ18

「感謝と期待」

贈る相手方：医師

お元気ですか。出産ではお世話になりました。

初めての出産、高齢出産という事もあり無事生まれるか不安があったのですが、先生に診ていただき、手術も担当してもらい、心強かったです。

娘も早1歳9ヶ月、いろいろな言葉も喋り始め、賑やかな毎日を過ごしています。娘が1歳になった去年、先生にご挨拶に伺ったところ、先生は3月に病院を変わられたとのことで残念でした。

医師不足といわれる現在、なかなかひっぱりだこで、戻ってこられるのは難しいかと思いますが、また戻ってこられたら嬉しいなと思います。(友人で40超出産の方もみえるので、私ももし第2子に恵まれたら、また先生に診てもらえたらなと淡い期待を持っています)

産科の先生は、いつ急患が来るか分からない状況で大変と思います。でも赤ちゃんがこの世に生まれる瞬間に関わる、すごく大切なお仕事。

これからも、ご活躍お祈りしております。お体にはくれぐれも気をつけて下さいね。

39歳 女性



メッセージ19 「みなさんのやさしさが安心に」

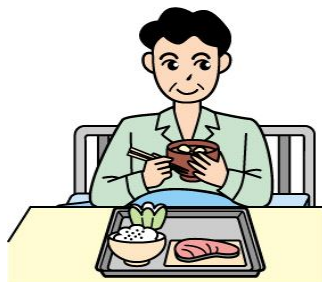
贈る相手方：医師、看護師、その他医療スタッフの皆様

病院にお世話になってから2年4ヶ月、4階、5階、7階といろんな皆様にお世話をかけながら今日を迎えました。7階に来てからは非常に落ち着きを見せ、毎日訪問するのが楽しみになりました。

私達は、人並みにごはんを食べることが出来ることを長い間願っておりましたが、それも皆様のご努力によって実現し、おいしかったという満面の笑顔に感激しています。スタッフお一人お一人のやさしさが、7階全体のやさしさとなって、病む者を安心させていると思います。

心からのありがとうございますを申します。そして、これからもよろしく願います。

尾鷲市 70歳 女性



メッセージ20

「退屈虫と闘いながら」

贈る相手方：医師

昨年11月に、腰の手術をしていただいたものですが、術後も大変経過が良く、長年苦しんでいた足の痺れも全くなき、まるで生まれ変わったみたいです。

手術をすると決めた時、友人や会社関係の人に、どこでするのかと聞かれ、貴病院と答えた時、皆さんに言われました。「大丈夫？」と。迷わず答えました。決して愛想は良くはないが、腕の良い先生がおるんやと。(噂に聞いただけでも、手術をしてもらってこんなに良くなるとは思ってもみませんでした。しかも地元の病院で出来た事が何よりでした。

名古屋、大阪等で入院しますと家族にも面倒をかけ、大変だったと思います。しかし、手術して下さった先生は3月で転勤してしまうとの事、残念です。

最後に先生ならびに整形外科の病棟の看護師の皆さん、ありがとうございました。皆さんの明るい笑顔とキビキビとした態度での看護で、退屈虫と闘いながら楽しく入院生活を送れました。



紀宝町 55歳 男性

3 おわりに

このメッセージ集は、県民の皆様からお寄せいただいたメッセージの中から一部を掲載させていただきました。多数の応募があり、全てを掲載することができなかった旨ご了承ください。

なお、メッセージを掲載するにあたっては、贈る相手方の勤務先の名称や個人の方のお名前などは分からないようにしています。

4 みえの地域医療を守る緊急メッセージ

本県では、県内の地域医療の厳しい状況を踏まえ、平成22年9月14日に三重県知事から「みえの地域医療を守る緊急メッセージ」を発表して、当面の厳しい状況を取り切るための緊急対策に取り組むとともに、県民の皆様に対して、医療機関に必要な以上の負担をかけることのないよう、適切な受診行動を呼びかけました。

みえの地域医療を守る緊急メッセージ
～ 県民の皆様を守り、現場で働く人たちを応援するために～

県内の地域医療は大変厳しい状況にあります。この事態を打開し、地域医療を守るために、県として緊急対策を実施します。

本県の医師数は、人口10万人あたり183人と、全国平均の213人(平成20年12月末現在)を大きく下回っており、地域間、診療科目間および病院・診療所間の偏在が生じる中で、伊賀地域や志摩地域などにおいて、地域のセーフティネットである救急医療体制の確保が困難な状況となってきています。

このような状況が今後も継続すると、隣接地域の救急医療体制を圧迫し、ひいては県全体の救急医療体制に影響を及ぼすことが懸念されます。

これまで、県として、医学生に対する修学資金貸与制度の拡充などを行ってきました。また、三重大学におかれては、地域への医師派遣に加え、医学部定員増および地域枠制度を設けるなどの対応を、県内の拠点病院におかれては、医師不足地域への診療支援などを行っていただいています。

こうした努力にもかかわらず、今日の地域医療は一層厳しさを増してきている状況にあることから、迅速な医師の確保と定着を実現し、県内の医師不足・偏在を解消するため、三重大学をはじめ、三重県医師会、三重県病院協会などの協力をいただきながら、緊急対策に取り組むこととします。

具体的には、

- ・ 全国から医師を招へいするため、健康福祉部内に医師確保対策チームを設置します。
- ・ 医師不足地域や医師不足診療科における医師の育成・確保をはかるため、研修医研修資金貸与制度を創設します。
- ・ 三重大学や県内の拠点病院から医師不足地域への医師派遣などの取組をさらに進めます。
- ・ 勤務医の負担を軽くするための取組を進めます。

なお、県民の皆様にもこの機会にお願い申し上げます。県内各地の病院では、日夜、医師をはじめとする医療スタッフの使命感と献身的な努力により、救急医療が確保されていますが、少なからぬ軽症患者の皆様が休日や夜間に、救急病院を受診することで、緊急に処置が必要な重症患者の皆様への対応ができなくなる上に、勤務医の過度な負担を招く、というような悪循環が生じています。このようなことが生じないよう、県民の皆様におかれましては、まずは身近な「かかりつけ医」に相談するなど、適切に医療機関を受診いただきますようお願いいたします。

今後数年間の厳しい局面を乗り切るため、県としましても、関係団体の協力をいただき、精一杯の努力をまいります。県民の皆様には、こうした厳しい状況をご理解いただき、地域医療を守るために、ご協力をいただきますようお願いいたします。

平成22年9月14日

三重県知事 野呂昭彦

5 その他(参考資料)

応募用紙



応募期間
平成23年
1月31日迄

急な病気やけがなどで治療を受けたことのある方、また現在治療を受けているみなさま!
お世話になった医師、看護師などの医療スタッフへ、感謝の気持ちをメッセージにして伝えてみませんか!!!



※みなさまからいただいたメッセージは、贈る相手方である医療スタッフへ、票からお届けします。また、このメッセージの中から、冊子や県のホームページなどに掲載して、医療現場で働くスタッフへの応援メッセージとして公表します。

応募方法 応募用紙に、ご記入いただき袋としにして郵送してください。FAXでも結構です。また、ホームページやEメールからお申込みいただくこともできます。

■詳しくは、三重県健康福祉部医療政策室(医師確保対策チーム)までおたずねください。
TEL:059-224-2326 FAX:059-224-2340

三重県ホームページ「おこないねっと三重」アドレス
<http://www.pref.mie.jp/IRYOS/HP/oinainet/>
E-mail: iryos@pref.mie.jp



三重県健康福祉部医療政策室内
医師確保対策チーム 行

郵便はがき
5148703

津支店承認
1439

料金受取人払郵便
差出有効期間
平成23年1月
31日まで

三重県津市広明町13番地

ありがとうのメッセージ集

平成23年3月 発行

三重県健康福祉部医療政策室

〒514-8570 津市広明町13

電話 (059)-224-2326



「おいないねっと三重」とは、三重県の医師確保の取組を紹介する総合サイトです。

<http://www.pref.mie.jp/IRYOS/HP/oinainet/>

オイナイヌは、県ホームページ「おいないねっと三重」のマスコットキャラクターです。